

10/3,AB,LS/1 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

014391857

WPI Acc No: 2002-212560/ 200227

XRPX Acc No: N02-162524

Selling support system has display device which displays either system goods or component goods stored in database based on input received through interface

Patent Assignee: DAINIPPON PRINTING CO LTD (NIPQ)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 2002041979	A	20020208	JP 2000220283	A	20000721	200227 B

Priority Applications (No Type Date): JP 2000220283 A 20000721

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 2002041979	A	10	G06F-017/60	

Abstract (Basic): JP 2002041979 A

Abstract (Basic):

NOVELTY - Information about system goods and component goods, are stored in system and component goods databases (4b,4a) respectively. An image display device (2) displays either component goods or system goods, based on input received through an interface and displays the estimated price of the system goods.

USE - Selling support system.

ADVANTAGE - A sheet containing estimated price of system goods, is generated automatically and customer time is saved.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows an outline block diagram of the selling support system. (Drawing includes non-English language text).

Image display device (2)

Component goods and system goods databases (4a,4b)

pp; 10 DwgNo 1/12

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-41979

(P2002-41979A)

(43) 公開日 平成14年2月8日(2002.2.8)

(51) Int.Cl.

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 3 0

3 1 8

F I

G 0 6 F 17/60

7-737-1 (参考)

3 3 0 5 B 0 4 9

3 1 8 A

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-220283 (P2000-220283)

(22) 出願日 平成12年7月21日(2000.7.21)

特許法第30条第1項適用申請有り 2000年5月30日発行
の日経産業新聞に掲載

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 西田 聡

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74) 代理人 100085501

弁理士 佐野 静夫

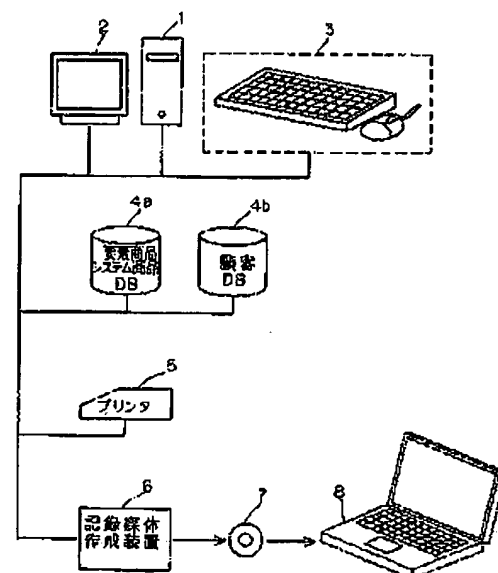
Pターム(参考) 5B049 B011 C002 C008 E007 FF03

(54) 【発明の名称】 販売支援システム

(57) 【要約】

【課題】 画像表示装置上でシステム商品の提案を行う販売支援システムを提供する。

【解決手段】 要素商品の情報を要素商品データベース4aに登録し、要素商品を組み合わせたシステム商品の情報をシステム商品データベース4bに登録する。そして、これらシステム商品及び要素商品の情報を画像として表示させる画像表示装置2と、この画像表示装置2にどのシステム商品または要素商品を表示させるかを選択するインターフェースとを設ける。画像表示装置2は選択したシステム商品の見積金額も表示する。選択インターフェース画面10、要素商品画面50、システム商品画面60は1画面で表示される。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 次の構成要素を含む販売支援システム：

(a) 要素商品の情報を登録した要素商品データベース。

(b) 前記要素商品を組み合わせたシステム商品の情報を登録するシステム商品データベース。

(c) 前記システム商品及び要素商品の情報を画像として表示する画像表示装置。

(d) 前記画像表示装置にどのシステム商品または要素商品を表示させるかを選択するインターフェース。

【請求項2】 前記画像表示装置に、選択したシステム商品の画像と共にその見積金額も表示されることを特徴とする請求項1に記載の販売支援システム。

【請求項3】 前記画像表示装置に表示されたシステム商品の見積シートが自動生成されることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の販売支援システム。

【請求項4】 表示中のシステム商品を構成する要素商品または要素商品の仕様を変更することにより、その変更が見積金額に反映されることを特徴とする請求項2または請求項3に記載の販売支援システム。

【請求項5】 表示中のシステム商品を構成する要素商品または要素商品の仕様を変更することにより、変更した要素商品または仕様を変更した要素商品に入れ替わった状態でシステム商品が表示されることを特徴とする請求項4に記載の販売支援システム。

【請求項6】 一定の基本条件を入力すると、その基本条件に適合するシステム商品が選択候補として前記画像表示装置上に提示されることを特徴とする請求項1～請求項5のいずれかに記載の販売支援システム。

【請求項7】 システム商品のオプションの画像も前記画像表示装置上に表示できるようにしたことを特徴とする請求項1～請求項6のいずれかに記載の販売支援システム。

【請求項8】 見積金額に加算されない参考商品を、システム商品に付加した状態で、または単独で、前記画像表示装置上に表示できるようにしたことを特徴とする請求項1～請求項7のいずれかに記載の販売支援システム。

【請求項9】 選択インターフェース画面と、要素商品画面と、システム商品画面とが1画面で表示されていることを特徴とする請求項1～請求項8のいずれかに記載の販売支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像表示装置を用いて商品のプレゼンテーションを行う販売支援システムに関する。

【0002】

【従来の技術】潜在顧客に商品のプレゼンテーションを行う手法として、印刷物のパンフレットやカタログに代

(2)

特開2002-41979

2

わり、パーソナルコンピュータ（パソコン）に画像を表示する、あるいはそれを液晶プロジェクタで拡大投影するといったやり方が注目を集めている。特開平7-296048号公報、同296049号公報にそのようなプレゼンテーション手法が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の技術は住宅設備商品の提案システムに関わるものであり、家屋の間取り画像と電源ポイント（電源タップ位置）とに関連づけて、商品の提案を能率的に行えるようになっている。しかしながらこの商品の提案は、商品を個別に提示するにとどまり、複数の商品を組み合わせたシステム商品をプレゼンテーションできるに至っていない。本発明はこの点に着目し、システム商品として提案すべきものは画像表示装置上でシステム商品として提案する、販売促進システムを提供しようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明では、要素商品の情報を要素商品データベースに登録し、要素商品を組み合わせたシステム商品の情報をシステム商品データベースに登録する。そして、これらシステム商品及び要素商品の情報を画像として表示させる画像表示装置と、この画像表示装置にどのシステム商品または要素商品を表示させるかを選択するインターフェースとを設けた。

【0005】請求項2に記載の発明では、請求項1に記載のものにおいて、選択したシステム商品の画像と共にその見積金額も画像表示装置に表示されるものとした。

【0006】請求項3に記載の発明では、請求項1または請求項2に記載のものにおいて、画像表示装置に表示されたシステム商品の見積シートが自動的に生成されることとした。

【0007】請求項4に記載の発明では、請求項2または請求項3に記載のものにおいて、表示中のシステム商品を構成する要素商品または要素商品の仕様を変更することにより、その変更が見積金額に反映されることとした。

【0008】請求項5に記載の発明では、請求項4に記載のものにおいて、表示中のシステム商品を構成する要素商品または要素商品の仕様を変更することにより、変更した要素商品または仕様を変更した要素商品に入れ替わった状態でシステム商品が表示されることとした。

【0009】請求項6に記載の発明では、請求項1～請求項5のいずれかに記載のものにおいて、一定の基本条件を入力すると、その基本条件に適合するシステム商品が選択候補として画像表示装置上に提示されることとした。

【0010】請求項7に記載の発明では、請求項1～請求項6のいずれかに記載のものにおいて、システム商品のオプションの画像も画像表示装置上に表示できること

(3)

特開2002-41979

3

4

とした。

【0011】請求項8に記載の発明では、請求項1～請求項7のいずれかに記載のものにおいて、見積金額に加算されない参考商品を、システム商品に付加した状態で、または単独で、画像表示装置上に表示できることとした。

【0012】請求項9に記載の発明では、請求項1～請求項8のいずれかに記載のものにおいて、選択インターフェース画面と、要素商品画面と、システム商品画面とが1画面で表示されていることとした。

【0013】

【発明の実施の形態】図1に本発明の一実施形態におけるハードウェア構成を示す。1はパーソナルコンピュータ（パソコン）本体、2はその画像表示装置、3は入力装置である。入力装置3はキーボードやマウス等、市販の入力デバイスの中から適当なものを選択する。パソコン本体1には後述のプレゼンテーションを行うためのデータ処理ソフトウェアがインストールされている。

【0014】4aは要素商品及びシステム商品に関する商品データベース、4bは顧客データベース、5はプリンタ、6は記録媒体作成装置で、これらはいずれもパソコン本体1に接続されている。記録媒体作成装置6はCD-ROMやDVD-ROMといった大容量の記録媒体7に情報を転写するものである。記録媒体7は、社内会議室あるいは客先等でノート形パソコン8等を使ってプレゼンテーションを行う際に使用する。

【0015】商品のプレゼンテーションにあたっては、入力装置3を操作し、画像表示装置2上にデータ処理ソフトウェアを立ち上げた後、そのメインメニュー画面（図示せず）から図2の画面を開く。図2の画面は、破線で区画して示すように、選択インターフェース画面10、要素商品画面50、システム商品画面60の3部分に分かれている。

【0016】以下、各画面の構成を説明する。図3に選択インターフェース画面10を示す。この実施形態ではシステム商品の例としてシステムキッチンが取り上げられており、選択インターフェース画面10もシステムキッチンという商品に合わせた画面設計になっている。まず「シリーズ」表示欄11があり、システムキッチンのシリーズの種類を表示する窓12が設けられている。

「シリーズ」表示欄11の下には「扉カラー」表示欄13があり、「グレード」を表示する窓14と、「カラーコード」を表示する窓15が設けられている。

【0017】「扉カラー」表示欄13の右側には「ガス」表示欄16があり、システムキッチンで使用するガスの種別を表示する窓17が設けられている。「扉カラー」表示欄13と「ガス」表示欄16の下には「基本セット」表示欄18があり、「ワークトップ形状」「左右勝手」「ワークトップ」「間口サイズ」「プラン種別」「シンクタイプ」をそれぞれ表示する窓19、20、2

1、22、23、24が設けられている。

【0018】窓12、14、15、17、19、20、21、22、23、24は各々右側にプルダウンボタン25を備える。プルダウンボタン25をクリックするとその窓のところにプルダウンメニューが開き、その窓に表示されるべきものの中から別のものを選択することができる。

【0019】「基本セット」表示欄18の下にはオプション選択欄26がある。そのタイトルバー27の右端にプルダウンボタン28があり、これをクリックすると図4のようにプルダウンメニューが開き、「入れ替えオプション」「追加オプション」「参考商品」という、要素商品の3種類の区分の中から所望のものを選択することができる。

【0020】図3は要素商品の種別として「入れ替えオプション」を選んだ状態を示しており、タイトルバー27の表示もそのようになっている。この時には、タイトルバー27の下に「調理機器」ボタン29、「レンジフード」ボタン30、「水栓金具」ボタン31の3個のボタンが並ぶ。これらのボタンをクリックすると、例えば図3は「調理機器」ボタン29をクリックしたところであるが、その下にプルダウンメニューが開き、そこに示された商品の中から所望のものを選択することができる。

【0021】図5に要素商品画面50を示す。一番下に選択バー51があり、ここに「表示」ボタン52、「選択」ボタン53、左方向スクロールボタン54、右方向スクロールボタン55が並んでいる。選択バー51の上には、要素商品の画像が最高8個まで表示される。

【0022】図6にシステム商品画面60を示す。この画面の下端には「決定」ボタン61、「クリア」ボタン62、「適用」ボタン63、「印刷」ボタン64、「顧客一覧」ボタン65、「メインメニュー」ボタン66が並ぶ。これらのボタンより上に、「表紙」シート67、「基本セット」シート68、「追加オプション」シート69、「参考商品」シート70、「図面」シート71、「見積」シート72が重ねて配置されている。所望のシートのタブをクリックすることにより、そのシートを表示させることができる。

【0023】図6は「基本セット」シート68を表示したところである。このシートは上端に「プラン」バー73を有し、ここには物件名表示窓74と見積金額表示窓75が設けられている。その下には、システム商品の全体画像80及びこれらを構成する要素商品の画像81と、基本仕様欄82が表示される。

【0024】シート群の下には左方向スクロールボタン76と右方向スクロールボタン77が配置され、シートからはみ出す情報があるときは、これらのボタンをクリックして画面を横方向にスクロールすることにより、シート全体を閲覧できるようになっている。

(4)

特開2002-41979

5

6

【0025】図12に商品詳細情報画面90を示す。この画面の左方に要素商品の画像91が表示され、その下と右側に、「オーダー」「掲載ページ」「品名」「品番」「価格」「幅」「奥行」「高さ」「重量」「メーカー名」等の情報が表示される。また「性能」のボタン92があり、これをクリックすると、その下の窓93に性能の詳細な説明が現れる。「キャンセル」ボタン94をクリックすれば、この画面は中止される。

【0026】上記の各種ボタンと、これをクリック、あるいは画像をドラッグアンドドロップするための入力装置3とが、画像表示装置2にどのシステム商品または要素商品を表示させるかを選択するためのインターフェース(マン/マシンインターフェース)となる。

【0027】以上のような構成の画面を利用してのセールス活動につき、以下説明する。システムキッチンの購入を意図している顧客が訪れたとき、営業担当者はメインメニューから図2の画面を開き、図6の「顧客一覧」ボタン65をクリックして「顧客情報入力」画面(図示せず)を開く。新規顧客の場合には「顧客種別」「顧客名」「住所」「電話番号」「物件名」等の情報を入力する。なお「顧客種別」とは、その顧客が新築工事もしくはリフォームの施主なのか、工務店か、ハウスメーカーか、あるいはハウスリフォーム業者なのかといったことである。

【0028】「顧客情報入力」画面で入力された情報は顧客データベース4bに登録される。顧客データベース4bに登録済みの顧客の場合は、その登録済みの情報を呼び出し、今回の商談に関わる情報、例えば「物件名」を追加入力する。

【0029】顧客についての情報を入力した後、システム商品画面60において「基本セット」シート68を選択する。物件名表示窓74には先ほど入力した物件名が表示される。ここから、「基本セット」を決める上で必要な基本条件の入力を開始する。最初に、選択インターフェース画面10で「シリーズ」表示欄11の窓12のプルダウンボタン25をクリックする。すると、商品データベース4aに登録されているシステム商品のシリーズがプルダウンメニューで表示されるので、その中から提案したい商品シリーズを選択する。これは顧客の希望を確認しつつ行う。

【0030】次に「扉カラー」表示欄13で「グレード」の窓14のプルダウンボタン25をクリックし、プルダウンメニューを表示させて、その中の扉グレードから営業担当者の提案するもの、あるいは顧客自身が決めたものを選択する。「カラーコード」の窓15のプルダウンボタン25をクリックすると、先に選んだグレードに含まれる扉カラーがプルダウン表示されると同時に要素商品画面50にそのグレードの扉が色柄を伴って一覧表示される。その中から顧客が希望するカラーの扉を選択する。

【0031】このようにシリーズと扉グレード、扉カラーを選択した上で、そのシステムキッチンの基本セットを設定して行く。扉グレード、扉カラーについては、この設定後においても随時変更可能となっている。この場合、後述する「見積金額表示欄75」の金額表示も、それらの仕様変更に伴い、その仕様の価格へ変更されるようになっているものである。そこでまず、「ガス」表示欄16の窓17のプルダウンボタン25をクリックし、そこに表示されるプルダウンメニューから、物件のところに来ているのと同じ種類のガスを選択する。

【0032】次に「基本セット」表示欄18で、窓19～24を一つずつプルダウンボタン25にてプルダウン表示させつつ、そこに現れた選択肢を選んで行く。すべての項目で選択作業を済ませたら、システム商品画面60で「決定」ボタン61をクリックする。すると商品データベース4aの中でシステム商品の検索が行われ、入力した基本条件に合致したシステムキッチンの画像がシステム商品画面60に表示される。入力した条件に合致するものがないときは、「項目を選択し直してほしい」旨のメッセージが出る。

【0033】入力した基本条件に合致するシステムキッチンが存在したときは、「基本セット」シート68に、その全体画像80及びこれを構成する要素商品の画像81が表示される。また、基本仕様欄82にこの基本セットの基本的な仕様が表示され、見積金額表示窓75にはこの基本セットの見積金額が表示される。この基本セットを選択候補として顧客に提示する。顧客がこれを気に入らなければ、異なる基本条件を入力して検索をやり直す。

【0034】「シリーズ」表示欄11、「扉カラー」表示欄13、「ガス」表示欄16、「基本セット」表示欄18でプルダウンメニューを開いて選択した結果「基本セット」シート68に表示されたシステムキッチンは、いわゆるデフォルトのシステムである。次に、営業担当者からの提案あるいは顧客からの要望に応じてシステム内容の修正を行う。

【0035】まず、「入れ替えオプション」の機能を使って要素商品の入れ替えを行う。この実施形態では「調理機器」「レンジフード」「水栓金具」の3種類の要素商品について入れ替えが認められている。例えば「調理機器」ボタン29をクリックして図3のようにプルダウンメニューを表示させ、その中から所望の商品ラインを選択すると、その商品のラインに含まれる商品の画像が、要素商品画面50に8個まで表示される。要素商品の数が8個より多い場合には左方向スクロールボタン54または右方向スクロールボタン55の色が変わるので、色が変わった方のボタンをクリックすることにより画面を横方向にスクロールして、すべての要素商品画像を閲覧することができる。表示された要素商品画面50の中から要素商品画像を選択し、「表示」ボタン52を

(5)

特開2002-41979

7

8

クリックすると、図12の商品詳細情報画面が開き、該当要素商品の詳細情報を確認することができる。

【0036】このようにして要素商品画面50に入れ替えオプションの要素商品画像を表示させ、気に入った要素商品があった場合にはその画像を「基本セット」シート68にドラッグアンドドロップするか、あるいは、画像を選択しておいて「選択」ボタン53をクリックする。すると、それまで「基本セット」シート68に表示されていた要素商品の画像81が新たに選択したものと入れ替わり、全体画像80も入れ替えを反映したものに

修正される。また、見積金額表示欄75の金額表示も入れ替えた要素商品の価格に基づく金額へと変更される。【0037】次に、「追加オプション」の機能を使って要素商品を追加する。オプション選択欄26のプルダウンボタン28をクリックし、プルダウンメニューの中から「追加オプション」を選ぶ。また「追加オプション」シート69を選択する。すると図7の画面になる。オプション選択欄26のタイトルバー27の表示は「追加オプション」に変わり、その下に「シンクまわり」「水栓まわり」「オプションパーツ」「アイレベル収納」「ク

リーンシューター」「冷蔵庫」「両面食器棚」「レンジフード」「床下収納ユニット」といったボタンが並ぶ。これらのボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されるので、その中から所望の商品ラインを選択すると、その商品のラインに含まれる要素商品の画像が、要素商品画面50に8個まで表示される。その中から所望のものを選択し、「入れ替えオプション」の場合と同様、ドラッグアンドドロップあるいは「選択」ボタン53のクリックにより、追加の要素商品の画像を「追加オプション」シート69に表示させる。また、「入れ替えオプション」の場合と同様に表示された要素商品画面50の中から要素商品画像を選択し、「表示」ボタン52をクリックすると、その要素商品の詳細表示画面90

(図12)が開き、該当要素商品の詳細情報を確認することができる。【0038】すると、「追加オプション」シート69にも見積金額表示欄75が現れているのであるが、その見積金額も追加商品を含んだ金額に修正される。ここで「基本セット」シート68の画像においても、全体画像80の中には追加商品が付加され、要素商品の画像81の中には追加商品の画像が増えるという仕組みにすることが

できる。ト「ベースキャビネット」「キッチンパネル」「施行イメージ写真」「シンク回り」「水栓回り」「コンロ回り」「レンジ回り」「食洗機回り」「食器棚回り」「その他」「ユーザ写真」といったボタンが並ぶ。これらのボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されるので、その中から所望のものを選択すると、該当の画像が要素商品画面50に並ぶ。その中から所望のものを選択し、「入れ替えオプション」「追加オプション」の場合と同様、ドラッグアンドドロップあるいは「選択」ボタン53のクリックにより、「参考商品」シート70に表示させる。また「入れ替えオプション」「追加オプション」の場合と同様に表示された要素商品画面50の中から要素商品画像を選択し、「表示」ボタン52をクリックすると、その要素商品の詳細表示画面が開き、該当要素商品の詳細情報を確認することができる。

【0040】「参考商品」シート70にも見積金額表示欄75が現れているが、今度は見積金額に変動はない。ただし参考のため、「基本セット」シート68の全体画像80に参考商品を付加することはできる。また同じシートの要素商品の画像81に参考商品の画像を追加表示することができる。

【0041】このようにして「基本セット」の設定を行い、「入れ替えオプション」で要素商品を入れ替え、「追加オプション」で要素商品を追加し、「参考商品」の提案を行った後、「見積」シート72を開くと、そこには見積が自動生成されており、図9のような画面が現れる。「印刷」ボタン64をクリックすれば、プリンタ5で図10のような見積書を印刷することができる。なお図9の見積例と図10の見積例は別のものである。プリンタ5は、見積書の印刷ばかりでなく、任意のシートの印刷を行うことができる。

【0042】これまで説明のなかったボタンとシートについて説明する。「クリア」ボタン62は選択した商品を取りやめるときに使用する。「流用」ボタン65は以前提案した、あるいは登録した商品呼び出して流用するときを使う。「メインメニュー」ボタン66はメインメニューに戻るときに使用する。「表紙」シート67は顧客への提案を提案書あるいは企画書の形にまとめるとき、表紙を作成するのに使う。「図面」シート71は3面図、断面図、特性図、システム構成図といった図面を表示するためのものであって、商品データベース4aに登録した要素商品の図面やシステム商品の図面をその上に呼び出す。

【0043】商談がまとまるか、あるいは顧客に提案書を渡して検討してもらうことになったときは、対象となったシステム商品を商品データベース4aに登録する。登録は顧客名と関連づけて行い、後日の照会に対応できるようにしておく。

【0044】図11は「基本セット」シート68、「追加オプション」シート69、「見積」シート72に取り

9

込まれるデータの構成を示す。まず「参考写真1」～「参考写真X」のデータがある。これは施工写真、写真など、それ自身は価格データを持たず、写真データのみからなるものである。次に「商品データ1」～「商品データX」がある。「X」は不特定数を示す。商品データの中には、キャビネットのように価格データはあるが写真データのないもの（キャビネットの場合、扉と一緒にしなければ写真にする意味がない）、また価格データも写真データも備えたものがある。「商品データ1」～「商品データX」は、基本セットを構成するとき、デフォルトで使用される。それから「入れ替え可能商品データ1」～「入れ替え可能商品データX」がある。これは、適宜「商品データ1」～「商品データX」と入れ替えられる。

【0045】また「追加商品データ1」～「追加商品データX」がある。図11では追加商品データは「追加オプション」シート69に取り込まれるだけであるが、これのみならず、「基本セット」シート68にも取り込まれるようにすることもできる。

【0046】「見積」シート72は、「商品データ1」～「商品データX」、「入れ替え可能商品データ1」～「入れ替え可能商品データX」、「追加商品データ1」～「追加商品データX」の中から選択されたものの価格データを取り込むことになる。

【0047】また上記実施例では「システムキッチン」を題材として説明を行ってきたが、本発明の適用対象はこれに限られるものではなく、「ユニットバス」やその他のものにも利用できる。さらには、その対象商品に応じて、表示欄の名称や欄数、各ボタンの名称、ボタン数、操作手順等、その商品に応じて異なってくるものである。

【0048】

【発明の効果】本発明販売支援システムは、次のような効果をもたらすものである。

①システム商品と、これを構成する要素商品の情報を画像として表示する。従って、要素商品がシステムとしてまとめられた場合どのような形になるのか、あるいはシステム商品を構成する要素商品は何であるかが一目瞭然で、説得力のある営業活動を展開することができる。

②システム商品の画像と共にその見積金額も表示され、また見積シートも自動生成されるので、顧客にとって時間節約の効果が大きい。

③要素商品として別のものを選択すると、その変更が直ちに見積金額に反映されるので、要素商品の変更をいろいろと試してみつつ、當に見積金額を把握することが可

(6)

特開2002-41979

10

能であり、顧客に偽りのない意思決定をしてもらうことができる。

④要素商品として別のものを選択すると、選択した要素商品に入れ替わった状態のシステム商品が表示される。その選択の可否を判断することがたやすい。

⑤一定の基本条件を入力すると、その基本条件に合致したシステム商品が選択候補として提示される。顧客の要望通りの条件で検索することが可能であり、顧客に対する説得力が強い。

⑥選択インターフェース画面と、要素商品画面と、システム商品画面とが1画面で表示されているので、顧客と同じ画面を見ながら顧客の要望を抽出することができ、顧客に対し提案をかけるのも容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の販売支援システムの概略構成図

【図2】 画像表示装置上に出現する画面の概略図

【図3】 選択インターフェース画面の拡大図

【図4】 選択インターフェース画面の拡大図で、図3とは異なる状態のもの

【図5】 要素商品画面の拡大図

【図6】 システム商品画面の拡大図

【図7】 追加オプション商品を表示させるときの画面を示す図

【図8】 参考商品を表示させるときの画面を示す図

【図9】 見積シートを表示させるときの画面を示す図

【図10】 プリントアウトした見積書の図

【図11】 データの相互関係を示す図

【図12】 要素商品の詳細情報を表示させるときの画面を示す図

【符号の説明】

1 パソコン本体

2 画像表示装置

3 入力装置

4 a 要素商品データベース

4 b システム商品データベース

4 c 顧客データベース

10 選択インターフェース画面

50 要素商品画面

60 システム商品画面

68 「基本セット」シート

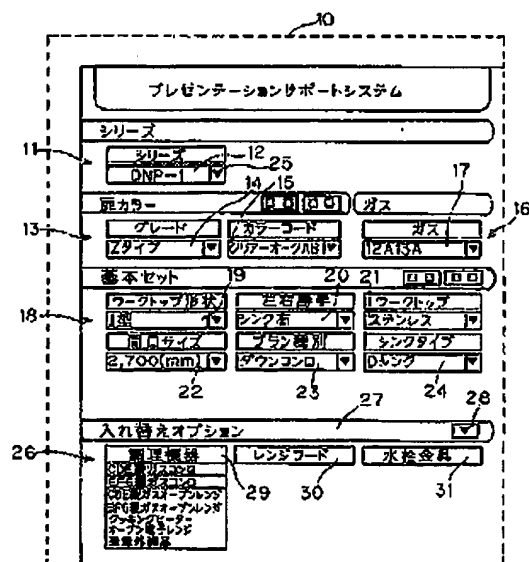
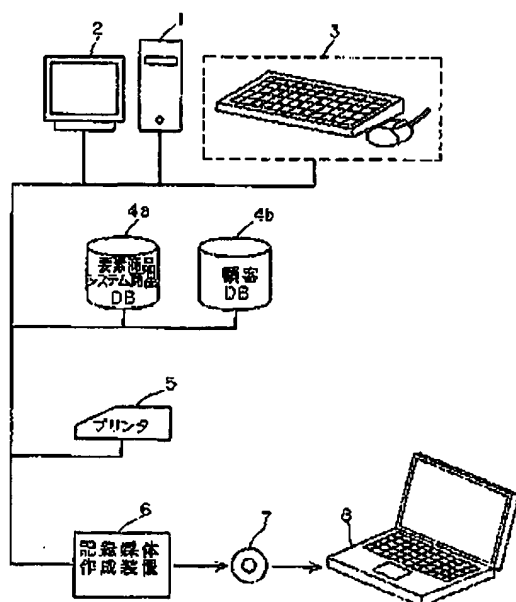
69 「追加オプション」シート

70 「参考商品」シート

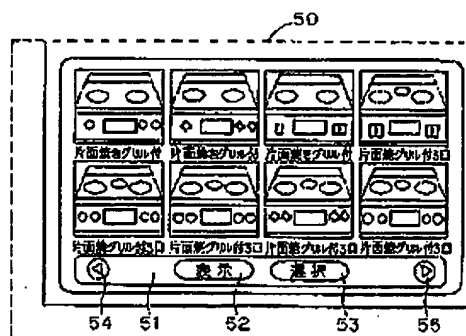
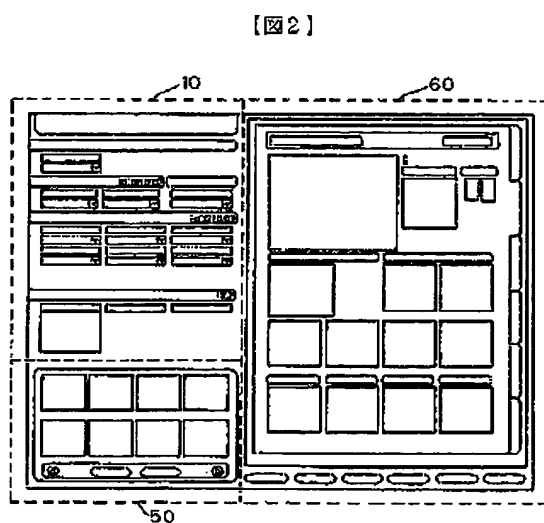
72 「見積」シート

90 商品詳細情報画面

【圖3】



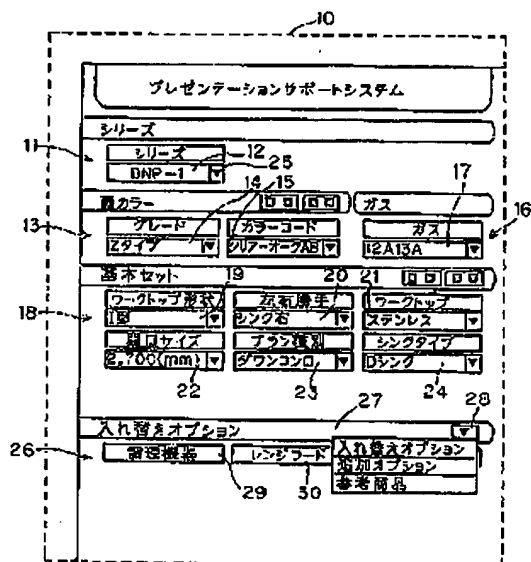
【図5】



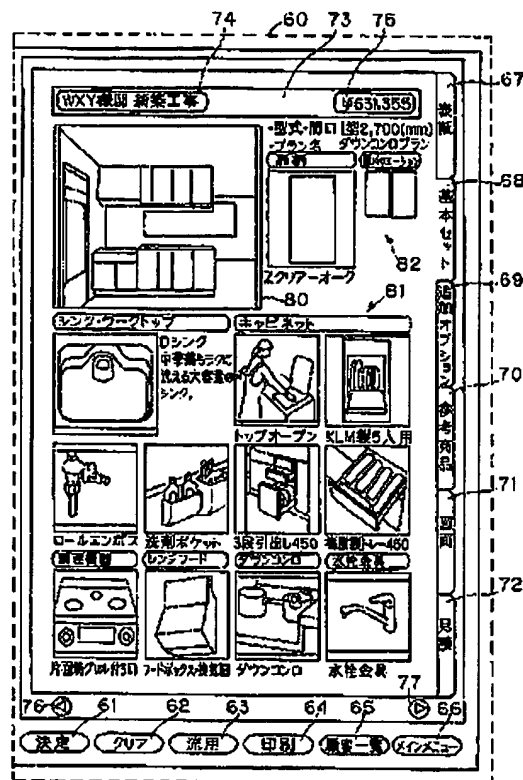
(8)

特開2002-41979

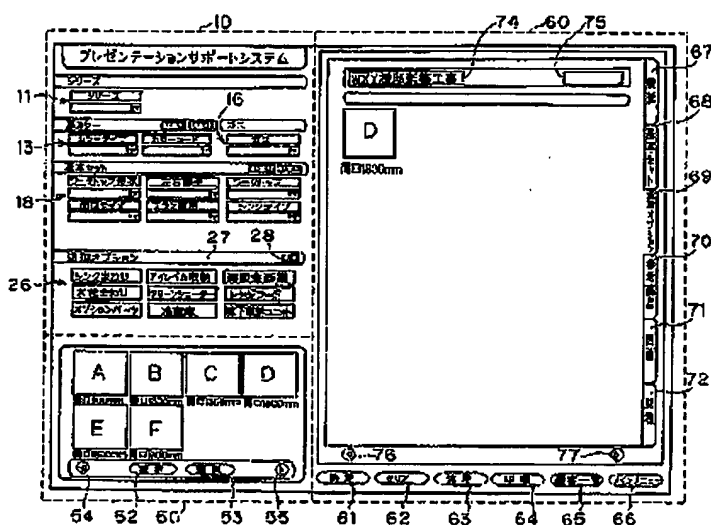
【図4】



【図6】



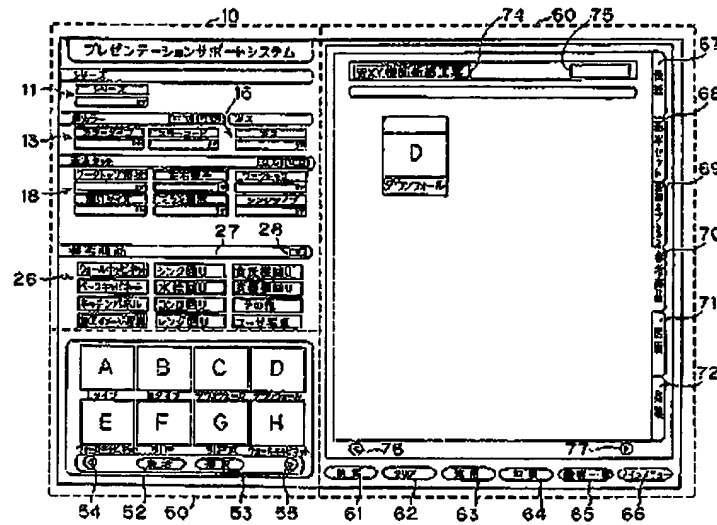
【図7】



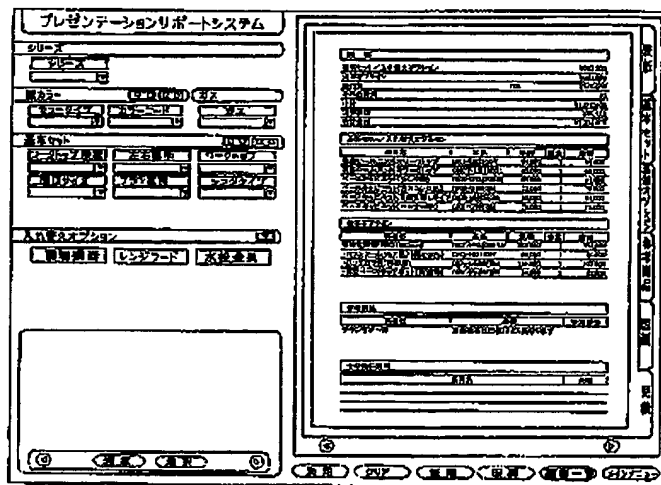
(9)

特開2002-41979

【図8】



【図9】



【圖 11】

68

基本セット

参考写真

商品データ

写真データ

発行写真、原写真など(価格がない)

キャビネットなど(価格はあるが、写真がない)

エンゾード、エンロッド(価格も写真もある)

追加オプション

入れ替え可能商品データ

追加商品データ

見直し

72

【圖 12】

Figure 1 is a schematic diagram of a computer screen displaying a Japanese e-commerce interface. The screen is divided into several sections. At the top, a header bar contains the text "商品詳細情報" (Product Detailed Information). Below this, on the left, is a product image of a car dashboard with two gauges, labeled "91". To the right of the image is a form with fields for "品名" (Product Name), "品番" (Product Number), "価格" (Price), "店" (Store), "販売" (Sales), "販売" (Sales), and "メーカー名" (Manufacturer Name). Below these fields are two buttons labeled "92" and "93". At the bottom left, there are two buttons labeled "オーダー" (Order) and "注文履歴" (Order History). At the bottom right, there is a large rectangular area labeled "94" containing the text "食料注意ランプ付き" (With food attention lamp). The entire interface is enclosed in a rectangular frame.

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.